
2507. 混載仕立情報登録

業務コード	業務名
HDF	混載仕立情報登録呼出し
HDF01	混載仕立情報登録

1. 業務概要

MAWB番号とHAWB番号を関連付けて、混載仕立に関する情報を登録する。

また、HAWB単位、MAWB単位、MAWBの仕向地（以下、MAWB仕向地という。）単位で、輸出貨物情報DBに登録されているHAWB情報を呼び出すことができる。

(1) 「混載仕立情報登録呼出し（HDF）」業務

(A) 処理区分に「H」（HAWB単位）が入力された場合

HAWB番号を入力することにより、輸出貨物情報DBに登録されているHAWB情報を呼び出す。

また、輸出貨物情報が登録されていない場合は、入力されたHAWB番号のみを出力する。

(B) 処理区分に「M」（MAWB単位）が入力された場合

HDF01業務後、MAWB番号の付け替えやMAWB及びHAWBの情報の変更を行う場合に、MAWB番号を入力することにより、MAWB単位にHAWB情報を呼び出す。

(C) 処理区分に「D」（仕向地単位）が入力された場合

MAWB仕向地を入力することにより、HAWBの仕向地（以下、HAWB仕向地という。）が登録されているHAWB情報を呼び出す。

(2) 「混載仕立情報登録（HDF01）」業務

HAWB情報を入力することにより、MAWB番号への仕立の登録、変更及び取消しを行う。

輸出貨物情報が輸出貨物情報DBに登録されていない場合は、入力された情報により輸出貨物情報の新規作成を併せて行う。

2. 入力者

混載業

3. 制限事項

(1) HDF業務の場合

1業務で入力可能なHAWB件数は最大30件とする。

(2) HDF01業務の場合

① 1業務で入力可能なHAWB件数は最大30件とする。

② 1件のMAWBに仕立てることができるHAWB件数は最大9999件とする。

③ 1件のMAWBを仕立てる混載業は最大9利用者とする。

4. 入力条件

(1) 入力者チェック

システムに登録されている利用者であること。

(2) 入力項目チェック

(A) 単項目チェック

「入力項目表」および「オンライン業務共通仕様書」参照。

(B) 項目間関連チェック

「入力項目表」および「オンライン業務共通仕様書」参照。

(3) 輸出貨物情報DBチェック

(A) HDF業務の場合

(a) 処理区分に「H」（HAWB単位）が入力された場合

入力されたHAWB情報が輸出貨物情報DBに存在する場合には、以下のチェックを行う。

① HAWBであること。

② 本業務に先立って混載仕立を行った利用者と利用者略称が同一であること。

③ 搭載完了されていないこと。

- ④手作業移行されていないこと。
 - ⑤貨物取扱中でないこと。
 - ⑥「貨物情報切替登録（CHG）」業務で作成された貨物の場合は、「一括搬入確認登録（B I L O 1）」業務で搬入済みとなっていること。
 - ⑦MAWB番号の変更を行う場合は、運送中でないこと。
 - ⑧複数HAWBに対してMAWB番号の変更を行う場合は、変更前のMAWB番号がすべて同一であること。
- (b) 処理区分に「M」（MAWB単位）が入力された場合
- 入力されたMAWB情報が輸出貨物情報DBに存在する場合に、以下のチェックを行う。
- ①入力されたMAWB番号に関連付けられているHAWB情報が存在すること。
 - ②ジョイント混載の旨が登録されていない場合は、本業務に先立って混載仕立を行った利用者と企業略称が同一であること。
 - ③搭載完了されていないこと。
 - ④手作業移行されていないこと。
- (c) 処理区分に「D」（仕向地単位）が入力された場合
- 入力されたMAWB仕向地に関連付けられているHAWB仕向地が登録されており、混載仕立済でないHAWB情報が存在すること。
- (d) 処理区分に「F」（MAWB情報の強制訂正）が入力された場合
- 入力されたMAWB番号に仕立済のHAWB番号が登録されていないこと。
- (B) HDF01業務の場合
- (a) MAWBの場合
- 入力されたMAWB番号が輸出貨物情報DBに存在する場合に、以下のチェックを行う。
- ①MAWBであること。
 - ②ジョイント混載の旨が登録されていない場合は、本業務に先立って混載仕立を行った利用者と利用者略称が同一であること。
 - ③搭載完了されていないこと。
 - ④手作業移行されていないこと。
- (b) HAWBの場合
- (ア) 入力されたHAWB番号が輸出貨物情報DBに存在する場合に、以下のチェックを行う。
- ①HAWBであること。
 - ②本業務に先立って混載仕立を行った利用者と利用者略称が同一であること。
 - ③搭載完了されていないこと。
 - ④手作業移行されていないこと。
 - ⑤貨物取扱中でないこと。
 - ⑥「貨物情報切替登録（CHG）」業務で作成された貨物の場合は、「一括搬入確認登録（B I L O 1）」業務で搬入済みとなっていること。
 - ⑦MAWB番号の変更を行う場合は、運送中でないこと。
 - ⑧複数HAWBに対してMAWB番号の変更を行う場合は、変更前のMAWB番号がすべて同一であること。
 - ⑨入力された仕立個数がシステムに搬入されている個数以上であること。
 - ⑩輸入からの仮陸揚げ貨物の場合は、入力された仕立個数と登録されている総個数が等しいこと。
 - ⑪貨物取扱許可申請中または見本持出許可申請中でないこと。
- (イ) 仕立を取り消す場合（「処理識別」欄「C」（情報取消し））
- ①入力されたHAWB番号が輸出貨物情報DBに存在すること。
 - ②HDF01業務が行われていること。

- ③運送中でないこと。
- (ウ) HAWBを削除する場合（「処理識別」欄「D」（削除）
 - ①入力されたHAWB番号が輸出貨物情報DBに存在すること。
 - ②HDF01業務のみが行われていること。

5. 処理内容

(1) HDF業務の場合

(A) 処理区分に「H」（HAWB単位）が入力された場合

(a) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「0000-0000-0000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「00000-0000-0000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）

(b) HAWB情報抽出処理

処理対象外表示に「X」が入力された場合は、抽出対象外とし、結果情報に出力しない。

(c) 出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照

(d) 注意喚起メッセージ出力処理

登録を行うには再送信が必要である旨を注意喚起メッセージとして出力する。

(B) 処理区分に「M」（MAWB単位）が入力された場合

(a) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「0000-0000-0000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「00000-0000-0000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）

(b) HAWB情報抽出処理

入力されたMAWB番号が関連付けられているHAWB情報を以下の条件で輸出貨物情報DBより抽出する。

①入力者が取り扱えるHAWBであること。

②搭載完了されていないこと。

③手作業移行されていないこと。

④貨物取扱中でないこと。

(c) 出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

(d) 注意喚起メッセージ出力処理

①抽出条件に対する対象データが残存する場合は、その旨を注意喚起メッセージとして出力する。

②登録を行うには再送信が必要である旨を注意喚起メッセージとして出力する。

(C) 処理区分に「D」（仕向地単位）が入力された場合

(a) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「0000-0000-0000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「00000-0000-0000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）

(b) HAWB情報抽出処理

入力されたMAWB仕向地が関連付けられているHAWB情報を以下の条件で輸出貨物情報DBより抽出する。なお、HAWB番号は下1桁でソートし出力する。

- ①入力者が取り扱えるHAWBであること。
- ②混載仕立済でないこと。
- ③搭載完了されていないこと。
- ④手作業移行されていないこと。
- ⑤貨物取扱中でないこと。

(c) 出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

(d) 注意喚起メッセージ出力処理

- ①抽出条件に対する対象データが残存する場合は、その旨を注意喚起メッセージとして出力する。
- ②登録を行うには再送信が必要である旨を注意喚起メッセージとして出力する。

(2) HDF01業務の場合

(A) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「0000-0000-0000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「00000-0000-0000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）

(B) 輸出貨物情報DB処理

(a) MAWBの場合

(ア) 登録処理

入力されたMAWB番号に対し、以下の処理を行う。

- ①輸出貨物情報DBに存在しない場合は、新規作成する。
- ②仕立てられたHAWB情報（個数・重量等）の登録を行う。
- ③仕立てられたHAWBの件数を加算する。

(イ) 変更または取消処理

変更前のMAWBに対し、以下の処理を行う。

- ①仕立てられていたHAWB情報（個数、重量等）の取消を行う。
- ②仕立てられていたHAWBの件数から該当するHAWBの件数を減算する。なお、減算の結果、HAWBの件数が0件となった場合は、以下の処理を行う。
 - ・HAWB情報以外が登録されている場合は、HAWB情報を削除する。
 - ・HAWB情報のみが登録されている場合は、輸出貨物情報を削除する。

(b) HAWBの場合

入力されたHAWB番号に対し、以下の処理を行う。

(ア) 登録処理

- ①輸出貨物情報DBに存在しない場合は、新規作成する。

- ②HAWB情報（総個数・総重量等）の登録を行う。
- (イ) 変更または取消処理
 - HAWB情報（総個数・総重量等）の変更または取消を行う。
- (ウ) 削除処理
 - 輸出貨物情報を削除する。
- (C) 継続処理
 - (a) HAWB情報抽出処理
 - (ア) HDF業務（処理区分「M」（MAWB単位））から継続してHDF01業務が行われた場合
入力されたMAWB番号が関連付けられているHAWB情報を以下の条件で輸出貨物情報DBより抽出する。
 - ①入力者が取り扱えるHAWBであること。
 - ②搭載完了されていないこと。
 - ③手作業移行されていないこと。
 - ④貨物取扱中でないこと。
 - (イ) HDF業務（処理区分「D」（仕向地単位））から継続してHDF01業務が行われた場合
入力されたMAWB仕向地が関連付けられているHAWB情報を以下の条件で輸出貨物情報DBより抽出する。
 - ①入力者が取り扱えるHAWBであること。
 - ②混載仕立済でないこと。
 - ③搭載完了されていないこと。
 - ④手作業移行されていないこと。
 - ⑤貨物取扱中でないこと。
 - (b) 編集処理
 - 処理区分に「D」（仕向地単位）が入力されHDF業務から継続された場合は、混載仕立情報登録呼出し結果情報を編集する際に、HAWB番号を下1桁でソートし出力する。
- (D) 出力情報出力処理
 - 後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。
- (E) 注意喚起メッセージ出力処理
 - ①抽出条件に対する対象データが残存する場合は、その旨を注意喚起メッセージとして出力する。
 - ②登録を行うには再送信が必要である旨を注意喚起メッセージとして出力する。

6. 出力情報

(1) HDF業務の場合

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
混載仕立情報登録呼出し結果情報	処理区分が「F」(MAWB情報の強制訂正)でない場合	入力者

(2) HDF01業務の場合

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
混載仕立情報登録呼出し結果情報	以下の条件のいずれかを満たすとき、出力する (1) 処理区分に「M」(MAWB単位)が入力されHDF業務から継続された場合で、かつ入力された抽出条件に対するHAWB情報が残存する (2) 処理区分に「D」(仕向地単位)が入力されHDF業務から継続された場合で、かつ入力された抽出条件に対するHAWB情報が残存する	入力者
混載仕立情報登録結果情報	以下の条件のいずれかを満たすとき、出力する (1) 呼出し業務より継続してHDF01業務が行われ、かつ入力された抽出条件に対するHAWB情報が残存しない (2) 呼出し業務を行わずHDF01業務から直接入力して処理が行われた	入力者

7. 特記事項

(1) MAWBに登録されているHAWB情報がシステムから削除された場合の処理

混載仕立てされたHAWB情報について、保税蔵置場への搬入業務を行うことなく一定期間放置したために当該情報がシステムから削除された場合は、以下の手順によりMAWB情報の訂正を行う。

①HDF01業務において、当該MAWBに仕立てられており、輸出貨物情報DBに存在しているHAWBを全て取り消す。

②HDF業務において、処理区分「F」(MAWB情報の強制訂正)を入力し、MAWB情報に登録されているHAWB情報を初期化する。

③再度、HDF01業務において、MAWB番号への仕立ての登録を行う。

(2) 「混載仕立終了情報登録(HDE)」業務が行われた後に、混載仕立てされた全てのHAWBが取り消された場合は、混載仕立終了の旨も取り消す。

(3) 本業務に入力される項目(品名、仕向地、積込港、総個数、総重量)については、別紙L02「共通項目(航空輸出貨物情報)の登録優先順位」に従って輸出貨物情報DBに登録または更新する。